

遠賀

No.167 2022. 8.25

おんがちょう
発行／福岡県遠賀町議会

議会だより



一日も早く平穏な日常を！
令和4年7月10日

遠賀コミュニティーセンターのワクチン接種会場には、4回目のワクチン接種をする方がたくさん来場されていました。現在、県内の感染者数も増加しています。ワクチンを接種できる方はできる限り接種し、一日も早く平穏な日常を取り戻しましょう。

6月定例会	
条例改正・補正予算など	2
4月臨時会など	3
一般質問	4
おんがレガッタなど	6

6月定例会は、6月3日から15日までの13日間開催されました。

議案は、条例改正、令和4年度補正予算など8件が上程され、慎重審議を行いました。

条例制定

遠賀川駅南地区の地区計画の、区域内における建築物の制限
(全員一致可決)

契約

老良・上別府線整備工事(その12)請負契約の締結
(全員一致可決)

住みよい居住環境づくりと適正な土地の利用を行うために、建築物の用途、面積等を制限するもの。

曲手排水機場横にある県道につながる橋の工事請負契約を締結するもの。
▽入札の方法
条件付一般競争入札
▽契約金額
7513万円

条例改正

国民健康保険税の減免期間の延長
(全員一致可決)

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した国民健康保険の被保険者に対する税の減免を、昨年度に引き続き実施するため、国民健康保険税の減免対象期間を変更するもの。



補強土壁工事等が行われる現場

陳情

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出
(全員一致可決)

(関係機関に送付)
令和5年10月に予定される適格請求書等保存方式が導入されると、シルバー人材センターは免税事業者であるシルバー会員との取引における税額の控除を受けられなくなり、税の負担が増えることになる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はないのが現状である。

以上の状況を鑑み、センターの安定的な事業運営が可能になる措置を国に求めるもの。
(注) 適格請求書等保存方式
売手が買手に正確な適用税率や消費税額等を伝えるため、ビジネス取引において国が新たに利用を求める請求書等の保存を義務付ける制度。

令和4年度
一般会計補正予算
2億5060万円増額
(万円未満四捨五入)

(賛成多数可決)
第2回目の補正予算は、2億5060万円を増額し、予算規模は79億280万円になりました。

【主なもの】

予防接種コールセンター業務委託料 704万円

4回目のワクチン接種実施に伴う予約業務を委託するもの。

集団接種執務委託料 813万円

4回目のワクチン集団接種実施に伴う医療従事者への執務委託料を計上するもの。



4回目のワクチン接種

地域活性化商品券補助金 2500万円

芦屋基地周辺地域整備補助金 195万円

原油価格や物価高騰の影響を受けている町内事業者と生活者を支援するため、プレミアム率25%の商品券(第2弾)を増額発行するもの。

鬼津生産組合の農業用倉庫の整備をするもの。
基金積立金 6792万円

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金 1650万円

老朽化して使用していない武道場の売却収入から必要経費等を差し引いた金額を教育関係施設基金として積み立てるもの。

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、物価高騰等に直面する子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を給付するもの。

非課税世帯等臨時特別給付金 5100万円

システム導入開発委託料 1446万円

新たに令和4年度町民税非課税世帯等となった世帯に、一世帯あたり10万円を支給するもの。

住民の方がマイナンバーとスマートフォンを活用し、引越越しワンストップサービス手続を行うために必要なシステムの構築等の委託料を計上するもの。

対象世帯は、
①令和4年度町民税(均等割)非課税世帯。
②新型コロナウイルス感染症の影響を受けて令和4年1月以降に家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯。

専決処分

国民健康保険税課税限度額引き上げ

(賛成多数可決)

国民健康保険税条例の一部改正において、基礎課税限度額は63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税限度額は19万円から20万円に引き上げられ、介護納付金課税限度額17万円と合算し、最高102万円となるもの。令和4年4月1日施行。

条例改正

遠賀川駅南第2駐車場8月31日をもって閉鎖

(全員一致可決)

遠賀川駅南地区の区画整理の開始に伴い、駅南第2駐車場を令和4年8月31日をもって閉鎖するにあたり、所要の改正を行うもの。



駅利用者には便利だった駐車場

令和4年度
一般会計補正予算
3574万円増額
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第1回目の補正予算は、3574万を増額し、予算規模は76億5221万円になりました。

【主なもの】

庁舎管理費

363万円

消防設備点検において庁舎玄関ロビーの防火シヤッターの自動制御に不具合が見つかったため、シヤッター取り換え工事を行うもの。

平田川井堰遠隔操作装置
設置工事費
495万円

樋門の開閉操作を、職員がスマートフォン等により遠隔操作を可能とするための工事を行うもの。

備品購入費

352万円

小学校に設置する電子黒板を8台購入するもの。これにより、3小学校全ての普通教室に電子黒板が整備されることになる。



電子黒板

On Pay プレミアム付キャッシュレス商品券

625万円

地域活性化のため、遠賀町商工会が発行するプレミアム率25%のキャッシュレス商品券に係る経費を補助するもの。

採決の結果 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席) ※全員一致の議案は除いています。

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	議員名												
		萩本	中野	舩添	萩尾	二村	加藤	(欠番)	田代	仲摩	濱田	平見	織田	仲野
4月臨時会	専決処分の承認を求めることについて 遠賀町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	/	▲	○	○	○	○	(議長)
6月定例会	令和4年度遠賀町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	/	▲	○	○	○	○	(議長)



研修会の様子

町村議会
議長・副議長研修会

令和4年5月30日(月)

に東京国際フォーラムにて町村議会議長・副議長研修会が開催されました。東京大学名誉教授の大森先生から「町村議会のあるべき姿」について、大正大学教授の江藤先生からは「町村議会議員報酬について」上智大学教授の三浦先生からは「地方議会とハラスメント」について話を伺いました。最近、特に問題となっている議会におけるハラスメントの問題や、議員のなり手不足の問題、議員報酬の問題については遠賀町議会としてもさらに議論を深めていく必要性を強く感じました。

熊本県御船町議会より
視察研修で本町に来庁
される

令和4年6月27日(月)

熊本県御船町議会より予算審査検討特別委員会委員6名の他、議長・事務局を含め、総勢8名の方が視察研修で来庁されました。

研修事項については、「本町の予算・決算審査特別委員会について」であり、議会運営委員会でも対応しました。

本町では、予算審査は3月定例会において、一般会計の当初予算議案について全議員で構成する特別委員会を設置し、審査を行っていること。決算審査は9月定例会に提出された決算認定議案について、6名の委員で構成する決算特別委員会を設置して、審査を行うことなどを説明しました。その後、質疑応答・意見交換を行い、大変有意義な機会でありました。



みねがうらいけ 峯ヶ浦池公園（島津区）の 景観について町の考えは



島津区と協議しながら、公園の美化と維持に努めていく考えだ



たしろ じゅんじ
田代 順二



ハスの花が綺麗な峯ヶ浦池公園

峯ヶ浦池公園について町の考えは

議員 峯ヶ浦池公園の景観についての考えは。

町長 峯ヶ浦池公園は、7月上旬から8月中旬にかけてハスの花で埋め尽くされ、町のホームページにも紹介している。この公園は、公園愛護会の対象公園で、地元の島津区に公園内の除草や清掃をお願いしている。ヨシの除去等は、地元要望により町が数年おきに行っており、今年度は、島津区が業者に頼んで除去や除草剤散布を行った。今後も、島津区と協議しながら、公園の美化と維持管理に努める考えだ。

樹木葬を新設する考えはないのか

議員 「遠賀霊園のあり方検討委員会」の状況と、樹木葬を新設する考えは。

町長 社会情勢の変化、人々の価値観の多様化に

より、遠賀霊園においても昨今、墓所の返還が新規使用を上回る状況で、空き墓所が増加傾向だ。

こうした中、利用者及び返還者等への聞き取りや、合葬墓を設置した公営墓苑や民間霊園の視察など、調査を行った。その結果を踏まえ、令和3年度に今後の運営方針を審議する遠賀霊園のあり方検討委員会を設置した次第だ。

検討委員会では、遠賀霊園の現状と課題等、審議のための基調報告を行い、調査や視察の報告、アンケートの実施について審議した。合葬墓を建設するとなった場合の霊園内の候補地も提案した。

また、樹木葬は永代供養墓あるいは合葬墓の一つの形と捉えている。検討委員会は、議会から指摘を受けた永代供養墓や合葬墓などを取り入れる検討を主題としているので、今後方向性が示されると考えている。

要介護4、5特別障害者手当の可能性

議員 要介護4、5の人は特別障害者手当を受給できる可能性がある。要介護4、5は何人いて、受給者は何人か。また、周知はどうしているのか。

町長 特別障害者手当は国の制度で、精神又は身体に著しく重度の障害があり、日常生活において常時特別の介護が必要な在宅の20歳以上の者で、月額2万7300円の手当が支給される。本人等の所得制限があり、施設入所者や3カ月以上入院の場合は対象とならない。要介護4、5の方は合計216名いて、このうち受給者は2名である。

周知は、身体障害者手帳等の交付時や障がい者福祉のしおり、ホームページで行っている。

※この他にも「ふれあいの里入館料、生活保護」について質問しました。



はぎ お おさ み
萩尾 修身



町内一斉避難訓練時の防災士の活用は



訓練の中で参加を含め、防災士の知識等も伝えていただきたい



町内一斉避難訓練時の一コマ

防災士の養成と活用について

議員 町内一斉避難訓練時の防災士の活用は。

町長 地域防災強化のため防災士の養成に取り組みとともに、防災士と自主防災組織との連携を強化し、自助、共助による地域防災の充実を図るよう取り組みを進めている。

訓練時の防災士の役割として、自主防災組織が避難訓練等を行う際、訓練内容の打ち合わせから訓練実施まで、訓練全体をコーディネートする立場として参画していただきたいと考えている。

子どものネットトラブルについて

議員 教師や親の見えにくいところで子どもだけの判断で通信器具を使ってしまう、水面下で深刻化しているところがある。今後もいろいろな形で出てくるであろう子どもの

ネットトラブルに対する指導や、家庭との連携は取れているのか。

教育長 自分専用のスマートフォンなどを所有する児童生徒が多くいる実態から、保護者の気づかない状況で様々な人とのつながりができています。その中で、メールでの誹謗中傷やいじめなど、いろいろなトラブルが発生していると考えられる。

学校では情報教育や人権教育の一環として、携帯電話やインターネットなどとの適切な関わり方、留意点などを指導している。家庭へは、学校通信や啓発リーフレットなどを活用して啓発を継続的に行っている。

議員 昨今のネットの発達で大人がすべてのトラブルを監視、介入することの限界が明らかになった。子ども自身がトラブルに対して解決能力を伸ばすことが必要と考える。学校や家庭できちんとし

た倫理観を養っていけば、トラブルを起こした場合でも、そこから学んで成長すると思うが教育長はどう考えるか。

教育長 同感だ。

※この他にも「インターネットによる人権侵害」について質問しました。

第24回おんがレガッタ 3年ぶり開催

新型コロナウイルスの影響で2年中断となっていたおんがレガッタが、5月21日と22日、3年ぶりに遠賀川漕艇場にて開催され、芦屋町、水巻町、遠賀町の各議会から出場し、競技に臨みました。岡垣町議会は都合により欠場しました。



記念撮影する芦屋町議会チーム

芦屋町議会の辻本監督は「今日はベストコンディション、レガッタ日和だった。12年前に私が出場を提案して初めて参加した。今年は練習が少なかったのでも来年はしっかり練習して臨みたい」

水巻町議会の住吉監督は「感染状況が少し落ち着いてきたことで、久しぶりにイベントが開催できて良かった。みんながニコニコしているのいいと思う」



予選4組中央は本町議会チーム

そして、遠賀町議会の平見主将は「今回は、練習が計画通りでできなかったが少ない練習の中、予選では3位に入った。クルー全員が力を合わせて一杯頑張り、素晴らしき出来だったと思う」と語りました。

委員会レポート タブレット導入調査検討特別委員会

令和4年5月19日(木) 宗像市議会を視察しました。

その後、令和3年よりタブレットが導入され、完全にペーパーレス化となっています。

宗像市議会では、平成27年から本会議や委員会において、議員所有のパソコン・スマートフォン等の持ち込み使用が試験的に開始されました。また、各議員がメールアドレスを取得し、事務連絡日程連絡はメール送信やカレンダー機能を活用、議案等の文書はクラウドサーバーで、データとして管理し、業務の効率化を徐々に図っていったとのことでした。

本会議場の中にはモニターが複数設置され、議員が行う一般質問の際には、補足資料はタブレットとモニターを接続して説明を行うことができます。



導入時の運用方法の説明



実際の議場の様子

効率化の手順や、いかにコストをかけずに運用していくか等、試行錯誤が必要であることが認識でき、本町の調査検討において参考となりました。

次回の定例会は 9月です

詳しい日程は、8月下旬に遠賀町ホームページ (<https://www.town.onga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

あ と が き

新型コロナウイルス感染症は、第7波に突入し、感染の急拡大を迎えています。

6月議会では、新型コロナウイルスワクチン4回目接種の予算計上に加え、新型コロナウイルスと物価高騰により、厳しい生活を余儀なくされている住民を応援するため、非課税世帯等臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金、また、地域活性化商品券補助金の補正予算が組まれました。

一方、梅雨はこれまでになく早く明け、40度に迫る異常な暑さで、熱中症の危険や農作物の被害が心配されます。

世界は、自然破壊に元凶があると言われていて、新型コロナウイルスや地球温暖化にこそ、結束して力を注ぐべきときではないでしょうか。

田代 順二

遠賀議会だより

発行責任者

議長

仲野 新三郎

議会広報

常任委員会

委員長

田代 順二

副委員長

仲摩 靖浩

委員

舩添 博孝

萩尾 修身

二村 誠司

平見 光司